# 特許協力条約

PCT

## 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

REC'D	0 6	OCT	2005
WIPO			PCT

出願人又は代理人 の書類記号 PC-9098	今後の手続きに	ついては、	様式PCT/I	PEA/41	6を参照する	こと。
国際出願番号 PCT/JP2004/00800	国際出願日 (日. 月. 年) 0	2. 06.	2004	優先日 (日.月.年)	02.06.	2003
国際特許分類(I P C)Int.Cl. <sup>7</sup> H04R3/	/12, 1/40, 3/14					
出願人 (氏名又は名称) ヤマハ株式会社						
1. この報告書は、PCT35条に基っ 法施行規則第57条(PCT36条	うきこの国際予備審査 ) の規定に従い送付:	 E機関で作成 ナス	<b>対された国際予備</b>	情審査報告であ	ంద.	
2. この国際予備審査報告は、この表		_		<b>かた ナ</b> ンズ		
		<u>ə</u>		1.04.0°		
3. この報告には次の附属物件も添付 a.	'されている。 ' ページ	である。				
「 補正されて、この報告の 囲及び/又は図面の用線	○基礎とされた及び/ 氐(PCT規則 70. 16	· /又はこの[ る 及び実施系	国際予備審査機同 回則第 607 号参照	関が認めた訂〕 3)	正を含む明細	書、請求の範
「 第 I 欄 4 . 及び補充欄に 国際予備審査機関が認定	こ示したように、出願				えた補正を含む	むものとこの
b. 「電子媒体は全部で・・・		•	·	(愛之	媒体の種類、	粉を示す)
配列表に関する補充欄に示 プルを含む。(実施細則第	マイン (マイン (マイン (マイン (マイン (マイン ) ) (マイン (マイン ) ) (マイン ) (マ	ータ読み取	対り可能な形式に			
4. この国際予備審査報告は、次の内	容を含む。			<del> </del>		
· <b>▽</b> 第 I 概 国際予備審	<b>香報告の基礎</b>		•			
第1個 優先権						:
	歩性又は産業上の利	用可能性に	ついての国際予	備案をお告の	不作成	-
第IV欄発明の単一		ATTENTON OF THE	・フザーとの画探り	MHATTHY CL (A)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
▼ 第V欄 PCT35条		生、進歩件:	又は産業上の利用	用可能性につい	いての見解 4	とれを塞付
けるための	文献及び説明	,,	1		C/UITY	C40 C 25(1)
「第VI欄 ある種の引	用文献					
第WI欄 国際出願の						
第7世間 国際出願に						
国際予備審査の請求費を受理した日		国際	予備審査報告を作	作成した日		

国際予備審査の請求書を受理した日 02.06.2004	国際予備審査報告を作成した日 22.09.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 5 Z 8 7 3 3 志摩 兆一郎
東京都千代田区段が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3541

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I棡	報告の基礎
1. この	・国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。
	この報告は、
·2. この た差替え	)報告は下記の出願啓類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され た用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
V	出願時の国際出願書類
, <b>r</b>	明細售         第       ページ、出願時に提出されたもの         第       付けで国際予備審査機関が受理したもの         第       付けで国際予備審査機関が受理したもの
٢	請求の範囲       項、出願時に提出されたもの         第       項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの         第       項*、         第       付けで国際予備審査機関が受理したもの         第       何*、
L - L	図面 第
з. Г	補正により、下記の沓類が削除された。         「 明細魯 第
4. F	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))      明細書 第
<b>* 4</b> .	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

## 特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/008008

見解			
新規性 (N)	請求の範囲 1-3		有
	請求の範囲		<b></b>
進歩性(IS)	請求の範囲 1-3		有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-3		
	請求の範囲	_	無

### 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

引用文献 1. JP 2003-510924 A (1... リミテッド) 2003.03.18, 全頁、全図 引用文献 2. JP 9-233591 A (ソニー株式会社) 1997.09.05, 全頁、全図 引用文献 3. JP 5-103391 A (松下電器産業株式会社) 1993.04.23, 全頁、全図

#### 請求の範囲1-3にかかる発明について

請求の範囲1-3にかかる発明には、アレースピーカの中央部のスピーカーユニットに対して比較的大きい重み付けを付与し、周辺部のスピーカーユニットに 対して比較的小さい重み付けを付与するようにし、入力音響信号の周波数帯域別に重み付けの差をつけている点が記載されており、これらの点は上記引用文献い ずれにも、記載も示唆もされていない。